

そほう

組

報

かけながわ

No.24 2011.3.15

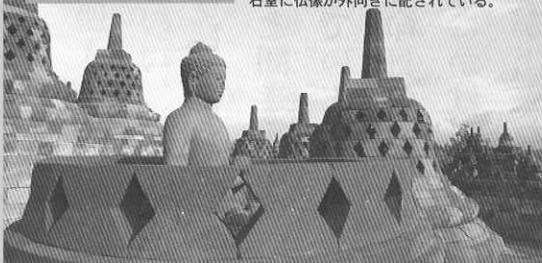
身近なお寺の情報誌

ボロブドゥール全貌



ボロブドゥールの塔頂部

塔頂部は円形になり、透かし模様の錐形の石室に仏像が外向きに配されている。



ボロブドゥールの回廊
ボロブドゥールの方形の階層には第一から第四まで4層の回廊があり、そのすべての両側に經典の教えに沿ったレリーフが彫られている。

写真提供 高願寺 宮本義宣

ボロブドゥール

インドネシア、ジャワ島中部にある古都ジョグジャカルタの北西約40kmにある

ボロブドゥールは、大乗仏教の世界的な石造遺跡である。750年から850年にかけて、この地方に仏教とヒンズー教文化が最も栄えた時代に、シャイarendラ王朝によって建設されたという大遺跡は、自然の丘を利用して盛り土をし、安山岩の切り石を積み上げて、120m四方の基壇を作り、その上に6層の方形壇と3層の円壇をのせ、最上段には中心仏をのせ、全体の高さは42mにも及ぶ壮大なものである。ボロブドゥールの偉しさは建造物の大きさだけではない。隠された基壇を含めて、第一回廊から第四回廊にわたる壁という壁には合計1460面、延長5kmにおよぶ見事な石の浮き彫りが施されている。その浮き彫りの一枚一枚が意味をもち、建造物全体に配された500体以上にも及ぶ仏像が、この建造物を仏教の一つのパンテオンとし、独特の宗教空間を作り上げている。（ボロブドゥール、井戸進、中公文庫より）

浄土真宗本願寺派

そほう かながわ 第24号

「それぞれの記念日」

善教寺住職 平等 勝尊

「これでようやくスッキリしました。」

私がお墓掃除をしていると聞き覚えのある声が。振り返ると、そこには笑顔の女性が佇んでいました。女性は旦那さんが亡くなられてから、欠かさず月命日のお墓参りをされている方です。今月は見かけないなあと気にかけておりました。話を聞くと体調を崩され今月のお墓参りが出来なかつたそうです。ご自身の体調よりも、お墓参りに行けなかつたことが不安で仕方なかつたとこぼされていました。幾分軽い足取りで帰つていく女性を見送り、竹ぼうきを再び動かしながら考えさせられました。

大切な人に先立たれた時、後に残るものが大きな悲しみであることは、ほとんどの人に共通しているものでしょう。私自身も両親や兄弟を亡くしている身です。想像に難くはありません。残された自分にせめて出来ることはないか、むしろ何かをすることにより壊れそうな自分を保ちたいという思いがあるのかも

しません。ただそんな気持ちを持てるのは、それだけ亡くなつたあの人を今も深く想つているということでしょう。素敵のことではないでしょうか。そのことに気づかせてくれるのもまた大切な人であり、その人が亡くなるという出来事があつたからだと思います。それは生きていくうえで大切な「節目」です。

「節目」とは私たちの意志とは別のところにあります。それは突然やつてくるものです。恋人との別れや仕事を失うことや大切な人の死別や、私たちにとつて都合の悪いもの。しかしそういうものがなければ、弱く脆い自分を考えることも、立ち止まることもないのでしょうか。

今年は親鸞聖人の750回大遠忌法要が勤められます。これは五十年に一度の法要です。しかしこれは数字上の区切りに過ぎません。751回目でもいい、752回目でもいい。私に気づけるとき、それが親鸞聖人との出遇いになるのではないでしようか。

聖人 御旧跡めぐり③ 関東編

特集

●関東における親鸞聖人

親鸞聖人は、建保二（一二一四）年、四十二歳頃、越後を離れ関東へと移住した。関東には、六十代初め頃までの約二十年間滞在していたといわれている。

この間、親鸞聖人の教えに帰依した人々は多く、とくに後世二十四輩と呼ばれるようになつた聖人直弟子をはじめ、聖人面授口訣の門弟はかなりの数に及ぶ。

親鸞聖人の関東での足跡は、室町後期の『反故書』（顕誓著）によれば、「常陸國下妻の三月寺小島に三年ばかり、同じく稻田の郷に十年ばかり御座をなされぬ。これは筑波山の北のほとり板敷山のふもとなり。その相模國足下高津（足柄郡国府津）の真樂寺、また鎌倉にも居し給ふとなり」と、常陸国だけでなく相模国にも滞在していたことを伝えている。

れ、そこに聖人が庵を結び三年間滞在されたという。聖人の跡を弟子の蓮位が引き継ぎ三月寺と称したとも伝えられる（三月寺は現在はない）。

聖人の妻・恵信尼は、下妻の「さかいの郷と申すところ」で、夫親鸞が観音菩薩の化身だと感得する夢をみたと『恵信尼消息』に記している。小島草庵から北東三キロほどのところに下妻坂井という地があり、夢の場所はこの付近といわれる。



1 小島草庵跡



1 小島草庵跡

■所在地/茨城県下妻市小島
■アクセス/関東鉄道常総線「下妻駅」より徒歩20分

2 西念寺(稲田草庵) 浄土真宗単立淨土真宗立教開宗の地

小島草庵の次に移り住んだとされるのが稲田(茨城県笠間市)である。この地の滞在期間は十一年とも十六年ともいわれ、聖人はここを拠点に各地に布教されたという。



2 西念寺 山門

本願寺第三代覚如が著した『御伝鈔』には「聖人（親鸞）越後国より常陸国に越えて、笠間郡稻田郷といふところに隠居したまふ。幽棲を占むといへども道俗あとをたづね、蓬戸を開いていへども貴賤ちまたにある」とある。すなわち、ひつそりと住んでいるのに僧俗の別なく人が訪れ、戸を開ざしているのに、身分の上下なく多くの人が門前にあふれたと、稻田草庵の繁栄ぶりを記している。

●小島草庵跡

関東在住の初期の草庵跡 建保二（一二一四）年、親鸞聖人が越後から常陸国に移り来た最初に逗留したとされる草庵跡。現在は建物はないが、旧跡を示す石碑と聖人お手植えと伝わる大銀杏が枝を拡げ、往時を偲ばせる。

ここはもと、欽明天皇、用明天皇、聖徳太子の墓を守る「三院」という寺であつた伝えら

●大覺寺 浄土真宗本願寺派
弁円済度の旧跡

■所在地/茨城県笠間市稲田4-6-9
■アクセス/JR水戸線「稲田駅」より徒歩17分

親鸞聖人を襲撃しようとした山



3 大覺寺

聖人の主著『教行信証』は、元仁元（一二二四）年、聖人五十二歳のとき起草されたとみられ、これをもつて浄土真宗立教開宗の年といわれる。聖人が稻田に在住していた時期になる。

聖人の主著『教行信証』は、元仁元（一二二四）年、聖人五十二歳のとき起草されたとみられ、これをもつて浄土真宗立教開宗の年といわれる。聖人が稻

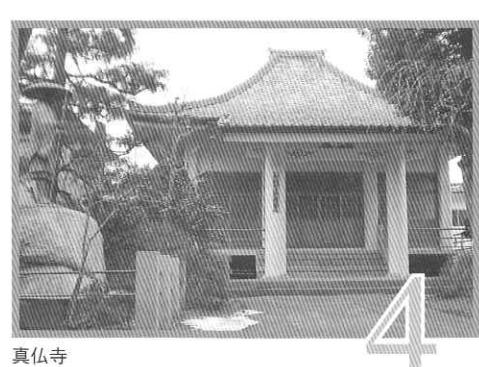
伏弁円の逸話伝える遺跡である。修驗道の大家として知られた山伏弁円は、親鸞聖人が念佛の教えを弘めたため加持祈祷にいたる信者が減つたことを怨んだという。『御伝鈔』には、弁円は聖人殺害をくわだて、板敷山で待ち伏せするが機会を得られず、直接稲田草庵に押しかけたという。『御伝鈔』には、弁円は聖人を狙う根城にしたのであつた。この庵は「大覺阿弥陀堂」と呼ばれ、聖人は弁円済度の勝地としてここで百日間説法をしたという。これが大覺寺のおこりである。

大覺寺は、もとは周観大覺といいう天台僧が建てた庵が前身といいう。周観大覺は後鳥羽天皇の皇子正懐親王と伝えられ、出家して比叡山で学んだのち東国行脚していた折り、この地に庵を設けたといいう。弁円は、当時空き屋となつていたその庵を、聖人を狙う根城にしたのであつた。この庵は「大覺阿弥陀堂」と呼ばれ、聖人は弁円済度の勝地としてここで百日間説法をしたという。これが大覺寺のおこりである。

大覺寺境内には、どこから見ても裏のない「裏見無しの庭」と呼ばれる市指定名勝庭園がある。板敷山に登ると、弁円が親鸞聖人を害するために三日三晩祈つたと伝えられる護摩壇跡が

■所在地/茨城県石岡市大増3-2-20
■アクセス/JR常磐線「石岡駅」より関鉄グリーンバス柿岡車庫前行きで30分、終点で板敷山前行きに乗り換えて15分終点下車

4 真仏寺



真仏寺

に親鸞聖人に帰依し高弟となつた善性（二十四輩第九）のことである。親鸞聖人を流罪に処した後鳥羽院、その子が聖人の法弟となつたわけで、仮縁の不思議を感じる。

大覺寺境内には、どこから見ても裏のない「裏見無しの庭」と呼ばれる市指定名勝庭園がある。板敷山に登ると、弁円が親鸞聖人を害するために三日三晩祈つたと伝えられる護摩壇跡が

建保六（一二一八）年、親鸞開基は大部平太郎で法名を真仏といいう。ちなみに専修寺開基の真仏（二十四輩第二）とは別の人である。

聖人は大部郷と呼ばれるこの地に、信仰篤い平太郎の招きによって布教に訪れた。このとき百日間逗留した蓮華王院という寺が、それ以来念佛道場となり、やがて真仏寺となつた。平太郎は地元領主の佐竹季賢の命により紀州熊野権現への参詣に同行することになったが、

■所在地/茨城県石岡市大増3-2-20
■アクセス/JR常磐線「石岡駅」より関鉄グリーンバス柿岡車庫前行きで30分、終点で板敷山前行きに乗り換えて15分終点下車

4 真仏寺

位に就いた。しかも、境内には「親鸞堂」と呼ばれる別殿があり、そこには、親鸞聖人が饗應を受けてお礼に授けたとされる、自刻の御真影と十字名号が安置されていた。

だが、明治元年の神仏分離令によつて権現号が廃止され「箱根神社」と改称した際に、金剛王院東福寺は廃寺となり、堂宇や法物等、仏教色は一掃された。幸いにも金剛王院の阿弥陀如来および親鸞堂の御真影と十字名号は、近くの萬福寺に移され難を逃れた。

箱根神社の境内には、戦後、戦没学生を追悼するために建立された親鸞聖人像がある。わずかにそれだけが聖人の足跡を偲ばせる。

■所在地／足柄下郡箱根町元箱根80-1
■アクセス／JR「小田原駅」または「小田急湯本駅」より
伊豆箱根バスで「元箱根」バス停下車徒歩10分

位に就いた。しかも、境内には「親鸞堂」と呼ばれる別殿があり、そこには、親鸞聖人が饗應を受けてお礼に授けたとされる、自刻の御真影と十字名号が安置されていた。

だが、明治元年の神仏分離令によつて権現号が廃止され「箱根神社」と改称した際に、金剛王院東福寺は廃寺となり、堂宇や法物等、仏教色は一掃された。幸いにも金剛王院の阿弥陀如来および親鸞堂の御真影と十字名号は、近くの萬福寺に移され難を逃れた。

江戸期の先啓著『大谷遺跡録』には、聖人は五十六歳頃より稻弥陀如來に帰依していることになるから、何ら神を軽視するものではなく、神も念仏者をとがめるはずがないと諭された。平太郎はこの指南を受け、神に詣でる際の儀礼である精進潔斎（肉食を断ち行いを慎んで身を清めること）はあえてせずに、あらためて念仏者としての態度を貫き熊野へ向かつたという。

真仏寺には、聖人がこの地に逗留されたとき、平太郎ら農民たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南无阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に逗留されたとき、平太郎ら農民たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

7 萬福寺 真宗大谷派

萬福寺は、箱根神社から湖畔沿いに進み関所の先に位置する。

萬福寺には、明治初年の廢仏毀釈のとき、箱根権現境内の金剛王院に安置してあつた本尊阿彌陀如來と、親鸞堂に祀られて

いたといふ聖人筆十字名号およ

び自刻の御真影が移されたとい

う（ただし御真影は現在、浅草

の東本願寺に安置されている）。

箱根権現と親鸞聖人の関係については近年、青蓮院の寺務記

碑が建つ。

■所在地／足柄下郡箱根町箱根228
■アクセス／JR「小田原駅」または「小田急湯本駅」より
伊豆箱根バスで「箱根町」バス停下車徒歩3分

明治元年まで存在した親鸞堂は、箱根権現（箱根神社）で親鸞聖人が歓待を受けた逸話が記されている。

聖人は帰洛のとき、箱根山中で夜になり、人家の戸を叩いたと云う。すると家人が出てきて「実は今、権現さまから、尊敬すべき客人がこの路を通られるから丁重に饗應しなさいとの夢

『御伝鈔』には、箱根権現（箱根神社）で親鸞聖人が歓待を受けた逸話が記されている。

聖人は帰洛のとき、箱根山中

で夜になり、人家の戸を叩いた

と云う。すると家人が出てきて

「実は今、権現さまから、尊敬

すべき客人がこの路を通られる

から丁重に饗應しなさいとの夢

の存在が見え隠れする。

芦ノ湖から旧東海道を三キロ

ほど畠宿方面に向かうと笈ノ平

という峠がある。甘酒茶屋の百

メートル先には「別れ石」があ

る。親鸞聖人は帰洛の途上、こ

こまで付き添つてきた門弟の性

信に、愛用の笈を譲つて別れた

という。「笈ノ平 親鸞聖人御

の存在が見え隠れする。

江戸期の先啓著『大谷遺跡録』には、聖人は五十六歳頃より稻

弥陀如來に帰依していることにな

るから、何ら神を軽視するも

のではなく、神も念仏者をとが

めるはずがないと諭された。平

太郎はこの指南を受け、神に詣

でる際の儀礼である精進潔斎（肉食を断ち行いを慎んで身を清めること）はあえてせずに、あらためて念仏者としての態度を貫き熊野へ向かつたという。

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ
自力雑修ノ草フトリ
往生ノ秋ニナリヌレバ
コノミトルコソウレシケレ
南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

真仏寺には、聖人がこの地に

逗留されたとき、平太郎ら農民

たちとともに田植えをしながら詠んだという歌が伝わる。

五劫思惟ノ苗代二
兆載永劫ノシロヲタテ

色々な方に開かれたお寺 「徳藏寺」

やあ寺を訪ねて

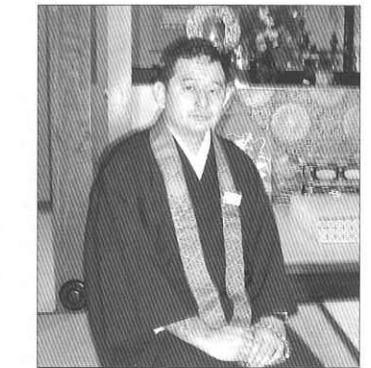
平成二十二年十一月に宗教

法人を取得し寺院となつた。

寺号の徳藏寺は、寺田住職

の出身のお寺（大阪市東淀川区）の名前が由来となつてゐる。

＊＊＊



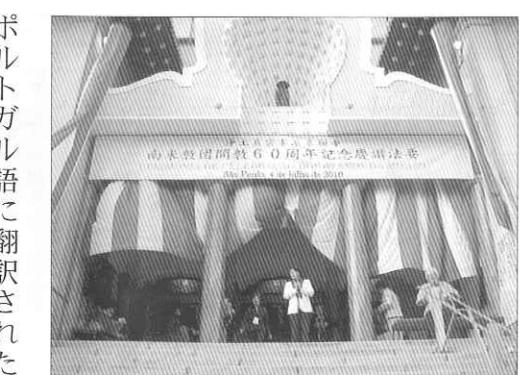
寺田崇裕住職

横浜市旭区にある徳藏寺は、昭和六十三年に原田晃英前師が「三ツ境布教所」として開所したのが始まりである。平成四年に住居横の土地を購入し、平成五年に本堂が建立された。

現住職の寺田崇裕師が、平成十一年四月に着任し、およそ十年の寺院活動の後に、

当時を振り返ると、サンパウロ別院では日系人の人たちが中心となり毎年花まつりをはじめ数々の行事が催され、それぞれがとても印象強く残つていて懐かしく思うそうだ。また、当時、急遽ポルトガル語を日本で短期間だけ勉強し、ブラジルへと渡つた。

海外での開教の経験を持つ寺田住職にとつても、日本での都市開教は難しいとのこと。その理由は、ブラジルは政治・経済情勢等、身の回りを取り巻く環境の変化はとても早い。しかし、人々にとつて一番大切なものはあまり変わらない。つまり、価値観の変化は少ないといえる。しかし、現代の日本の社会は、その逆で、身の回りを取り巻く環境の変化は少なく安定しているが、何が自分にとつて大切なものであるかの価値観は、目まぐるしく大きく変わるからだという。また寺田住職は、ブラジル滞在の経験をもとに、横浜市国際交流協会で通訳のボランティアを行つてゐる。



徳藏寺本堂内

法事などを執り、寺号の徳藏寺は、寺田住職



サンパウロ別院

寺田住職は、ブラジル・サンパウロ別院に勤めていた経験をもつ。もともと、海外での開教使を志し学生時代より準備をしていたが、赴任先がブラジルと決まって、急遽ポルトガル語を日本で短期間だけ勉強し、ブラジルへと渡つた。

寺田住職は、その出版にも携わり、原文に忠実な翻訳を行うことに苦労したことを見出している。

『ポルトガル語版・御文章』発刊後には、さらに『歎異抄』のポルトガル語版の編纂にも寺田住職は携わり、『ポルトガル語版・歎異抄』は、ブラジルの一般書店でも購入できるよう出版されたことは、とても良かったと語る。

寺田住職が、日本からブラジルへ渡つて驚いたことは、食事や飲み物に関する感覚が日本とだいぶ違うことだそうだ。ビールは冷えているものと冷えていないのがあり、冷えていないのが結構飲まれている事や、水よりもワインの方が安い場合もある事。また、マクドナルドはサンパウロにしかなく、せつかくあつたケンタッキーも閉店してしまつた。それは、そういつたファーストフードよりも安くあるからだ。二〇キログラム入りのオレンジが日本円にして数十円といつたように物価がとても安いために、ファーストフードなどはなかなか受け入れられないといふ。そうしたブラジル生活を二年間過ごし、徳藏寺

に入寺するため、平成十年暮れ帰国した。

海外での開教の経験を持つ寺田住職にとつても、日本での都市開教は難しいこと。

その理由は、ブラジルは政治・経済情勢等、身の回りを取り巻く環境の変化はとても早い。しかし、人々にとつて一番大切なものはあまり変わらない。つまり、価値観の変化は少ないといえる。しかし、現代の日本の社会は、その逆で、身の回りを取り巻く環境の変化は少なく安定しているが、何が自分にとつて大切なものであるかの価値観は、目まぐるしく大きく変わるからだという。また寺田住職は、



ポルトガル語版・「歎異抄」



ポルトガル語版・「御文章」

寺田住職が、日本からブラジルへ渡つて驚いたことは、食事や飲み物に関する感覚が日本とだいぶ違うことだそうだ。ビールは冷えているものと冷えていないのがあり、冷えていないのが結構飲まれている事や、水よりもワインの方が安い場合もある事。また、マクドナルドはサンパウロにしかなく、せつかくあつたケンタッキーも閉店してしまつた。それは、そういつたファーストフードよりも安くあるからだ。二〇キログラム入りのオレンジが日本円にして数十円といつたように物価がとても安いために、

ファーストフードなどはなかなか受け入れられないといふ。そうしたブラジル生活を二年間過ごし、徳藏寺

◆徳藏寺メモ◆

〒241-0816

横浜市旭区笹野台3-9-9

電話 045-364-2266

毎月第2土曜日・午後1時30分より

定例法話会開催

日本人も遠くない過去には普遍的な大切なものを持つていたはずだが、物が多く豊かになつて見失つてしまつているのかもしれない。

院などで、日本語が良くわからないポルトガル語文化圏の外国人の通訳を頼まれることが多く、多くの外国人から逆に日本の豊かさを教わるそうである。

日本人も遠くない過去には普遍的な大切なものを持つていたはずだが、物が多く豊かになつて見失つてしまつているのかもしれない。

「日々是坊守なり」

善然寺 坊守 長谷山 美菜子

この間テレビでディズニーランドの清掃員へ「『何をしているの?』と尋ねたら『夢のかけらを拾っています』と返事が返つてきました、素敵ですね」と話していました。なるほど、ではお寺の大切な法要の後片づけは歳と共に年々辛くなつてきましたが、人から尋ねられたら「お念佛のかけらを拾っています」となる。なんとも言えないありがたいお片づけとなります。お寺は法事やお葬式ばかりではありません。法要では大勢のご門徒さんがお聴聞に集い共にお念佛を称えます。時には「ちょっと聞いてください」と相談を仏さまの前で聞くこともあります。そんな時「あく良かった。聞いてもらえて・・・」と帰られると嬉しいです。気の利いたお茶菓子などなくとも一番のおもてなしは阿弥陀さまがいつも一緒に聞いてくださることです。時には「坊守さんは大変ですね」と門徒さんから言われます。確かに鍵を掛けて時間を忘れて出かけることはできず法務優先の生活環境、二十四時間営業の心のコンビニとも言われます。でも自分はマルチタレントかもと発想の転換。何でもやらなければ、旅館の女将のようにご講師のお泊りのお世話をから庭師のように木々花々の手入れ・・・あれこれ思案し企画するのも楽しみの一つです。出来ないときはご門徒さんのお知恵とお力を拝借。心強いご門徒さんがなんと頼もしくもあり有難いことです。法要の準備そして法要後お集まりの皆さまへのお接待菓子作りまでお手伝い頂きます。親鸞さまは小豆が大好物だったそうです。それを聞くと小豆を煮て餡子作りからと一層力が入ります。先日もおぜんざいを作りました。美味しいですね♪皆さまと一緒にいただと身も心もほっこりとします。五月の永代経法要は椿餅です。庭の椿の葉をあらしい餅米はほんのりピンクに染めて。こんな私にも夢があります。いつの日かお寺は後継者にゆだね引退した住職と心おきなく温泉に泊まり頭に手ぬぐいをのせ「極楽 極楽」と呟きのんびりしたいと思っています。



「穴のあいた靴下」

善教寺 平等勝之

ることもある。墓掃除に行けば帰つてこない。そんな父の棺桶には竹ぼうきを入れたいと、母は言う。

チューラパンタカという人物を御存知だろうか。お釈迦様の弟子の一人である。彼はお釈迦様にほうきを渡され、「塵を払わん、垢を除かん」と唱えながら、来る日も来る日も掃除を続けた。そしてついには悟りを開いたという。

私はこのチューラパンタカから連想する人物がいる。本誌2ページを開いてほしい。平等勝尊。私の父である。僧侶といふと話し上手というイメージがあるが、父はお世辞にもそうとはいえない。だが、お寺の掃除には身なり構わず全精力を注ぐ。チューラパンタカのように。来る人に気持ち良くお参りしてほしいという思いが並ではない。門徒さんに清掃業者さんと間違われ

ある日、私は法事を控え、衣に着替えていた。すると先に着替え終わっていた父の脱いだ服が置かれていた。私はそれに目を奪われた。汚れた服。ヨレヨレで穴のあいた靴下。真っ白な足袋を履く寸前まで、穴があいた靴下を履いて今日も掃除をしていたのだ。しばらく手が止まり、複雑な思いでそれを見つめていた。口にすることや思うことは簡単だが、それを実践することは容易ではない。実践する人を見て、人は学んでいくのかもしれない。人に気づかされながら学ぶことが多い。穴のあいた靴下に目が行く自分にもなったのだろう。

私は僧侶になる前も様々な葛藤があり、今も悩みながら私なりに僧侶という姿を模索している。ああ、明日の法事も緊張する。



神奈川組のホームページ

組報「かながわ」の
バックナンバーが読めます。

<http://www.kanagawaso.net/>



テレホン法話

電話で仏さまのみ教えを!

●築地本願寺こころの電話
TEL.03(3541)0294

●長念寺テレホン法話
TEL.044(911)8282

ビハーラ電話相談

—老いの悩み、病の苦しみに—

相談日▶毎週月・金／午後2時～5時

浄土真宗東京ビハーラ(築地本願寺内) TEL.03(5565)3418



おててのしわとしわをあわせて…しあわせ

日本の美・日本の心をお届けします。

お仏壇の はせがわ



業界初の上場企業
関東地区83店舗・全国で116店舗

~お仏壇、お仏具等~
**特別価格
大奉仕中!!**

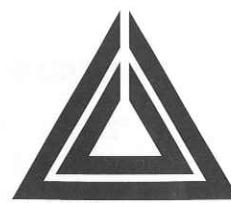
墓石・霊園も
好評お取り扱いしております。
※セール商品は除きます。

しあわせ少女ゆうかちゃん

横浜・川崎地区の店舗ご案内

金沢文庫店 横浜市金沢区谷津町352-7 オオサワヒルズ1F
上大岡店 横浜市港南区日野5-1-25
戸塚店 横浜市戸塚区戸塚町4670-1
今宿店 横浜市旭区今宿東町1621
新杉田店 横浜市磯子区杉田1-1-1 らびすた新杉田1F
長津田店 横浜市緑区いぶき野3-1
鶴見駒岡店 横浜市鶴見区駒岡町4-23-4
日吉店 横浜市港北区日吉3-4-8 リバーサイド日吉
鷺沼店 川崎市宮前区東有馬1-1-19
川崎店 川崎市川崎区東田町2-1
町田森野店 町田市旭町1-8-20
向ヶ丘遊園店 川崎市多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘
港北ニュータウン店 横浜市都筑区荏田東4-2-24 サンステージ北村1F

営業時間／午前10時～午後6時30分 日曜・祝日も営業いたしております。



お仏壇の
はせがわ

昭和59年 京都西本願寺阿弥陀堂
昭和62年 京都清水寺開山堂御厨子
三重塔堂内修復事業
昭和63年 福岡証券取引所
業界初の株式上場
平成6年 大阪証券取引所第2部
株式上場

グループ会社
(株)はせがわ美術工芸
(国宝美術品、寺院神社)
(株)はせがわ仮壇工房明日香工場
(純金箔仮壇)
(株)はせがわ仮壇工房大川工場
(唐木仮壇)

サッカーのアジアカップは、日本が頂点に立ち、その感激と興奮が醒め遣りません。初戦のヨルダン戦から、ハラハラドキドキの連続。オーストラリアとの決勝戦も夜中に起きたして見てしました。

どんなに技術が秀でた者の集団であります。個々の技術が充分に発揮されなければ、それは鳥合の衆になってしまいます。それもサッカーの日本代表のように短期間に一つのチームにまとめるのは至難の業だと思います。アジアカップでは、困難の連続の中、何度も精神力の集中が切れてしまいそうな事態に陥りながらも、なんとか勝

1

長念寺 小林 泰善

ち抜いたことはとてもすごいことだと思いました。そして、日本代表チームのメンバーは、試合が終われば、それぞれの個々が所属するチームに戻っていきます。

2

一残された葬儀の場も業者に委託する比率が増え、チームの役割が少しづつなくなりつつあります。地域の絆で、最後に残ったのが葬儀ですが、これも薄れつつあるのが実態だと思います。

3

私たちの社会で、長い間培い、そして消えかけてしまっている、地域の「絆」。もしかしたら、「代表チーム」のようなものであつたのではなかろうかと、ふと、そんな思いになりました。

個々の生活基盤は家庭や職場であり、普段はすれ違いに挨拶をする程度であつても、ある時になるとチームで力を発揮する。その時は冠婚葬祭などの通過儀礼をおこなう時がありました。会場づくりから、式の進行、食事の賄いから接待まで、細かく役割が定められ一丸となつて当事者となる家庭のために協力を惜しまなかつたのです。

お寺は、その緩い絆をつなぎ止める場でもあります。私たちの先輩方が、「ありがたい」「もつたいない」「尊い縁」ということばを頻繁に使ってきました。今こそ大切に伝えていかなければなりません。

絆
きずな

わたくしたちのお寺です

浄土真宗本願寺派 神奈川組

えんこうじ 円光寺	〒210-0814 川崎市川崎区台町 4-21 石川 康承 ☎ 044-266-2677
ほうえんじ 宝円寺	〒210-0838 川崎市川崎区境町 5-10 飯田 琢亮 ☎ 044-222-3941
こうとくじ 光徳寺	〒210-0848 川崎市川崎区京町 1-14-3 林 信順 ☎ 044-333-3997
しょうらくじ 正樂寺	〒212-0016 川崎市幸区南幸町 2-49 佐々木俊博 ☎ 044-522-1961
こうがんじ 高願寺	〒211-0051 川崎市中原区宮内 4-3-12 宮本 義宣 ☎ 044-777-6544
ちょうねんじ 長念寺	〒214-0014 川崎市多摩区登戸 1416 小林 泰善 ☎ 044-911-2549
じょうねんじ 常念寺	〒215-0033 川崎市麻生区栗木 203 古市 道仁 ☎ 044-988-0205
じょうしょうじ 淨照寺	〒216-0004 川崎市宮前区鷺沼 2-5-7 加藤 孝充 ☎ 044-855-2780
せんりゅうじ 善龍寺	〒221-0811 横浜市神奈川区斎藤分町29-51 斎藤 幸紹 ☎ 045-491-9431
せんきょうじ 善教寺	〒223-0057 横浜市港北区新羽町 2396 平等 勝尊 ☎ 045-541-7684
きょうがくじ 教覚寺	〒223-0057 横浜市港北区新羽町 2395 (代務) 平等 勝尊 ☎ 045-949-9500
こうりんじ 光輪寺	〒223-0064 横浜市港北区下田町 3-2-9 村石 恵照 ☎ 045-561-8671
とうぜんじ 東善寺	〒224-0001 横浜市都筑区中川 7-18-29 長谷尾 大圓 ☎ 045-911-3509
ちょうとくじ 長徳寺	〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西3-9-1 平塚 大乗 ☎ 045-911-7351
じゅふくじ 寿福寺	〒224-0033 横浜市都筑区茅ヶ崎東1-7-1 多田 龍空 ☎ 045-942-3721
さいじょうじ 最乗寺	〒224-0034 横浜市都筑区勝田町 1277 日野 教秀 ☎ 045-941-3541
じおんじ 慈恩寺	〒224-0055 横浜市都筑区加賀原 2-18-1 小泉 敬信 ☎ 045-934-8648

「神奈川組」とは… 私たちの教団(浄土真宗本願寺派)は、全国に一万余りの寺院を擁し教団独自の地区割をしています。その一番小さな単位を「組(そ)」といいます。神奈川組は、川崎市と横浜市中部と北部の寺院によって構成されています。



浄土真宗本願寺派 (西本願寺)

組報かながわ No.24

■発行日 2011年3月15日
(毎年1回3月発行)

■編集発行 浄土真宗本願寺派
東京教区神奈川組
基幹運動推進委員会

〒214-0014 川崎市多摩区登戸1416 長念寺内